

2022年6月30日
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
メディア環境研究所

メディア環境研究所「リアルタイム配信視聴意識調査2022」より

テレビの「リアルタイム配信」、4人に1人が利用経験あり。 “好きな場所で、一人で、集中して”見たい。 若者は、SNSでの“誘い合い視聴”で盛り上がる。

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所(本社:東京都港区、所長:島野真)は、「リアルタイム配信視聴意識調査2022」を実施しました。4月11日から民放キー局も開始した、地上波放送と同時にスマホ・PC・タブレットでテレビ番組を視聴することができる「リアルタイム配信」について、全国15～69才を対象に視聴実態と意識を調査した結果から、主なファインディングスをご紹介します。

①「リアルタイム配信」の認知率は70.8%。実際に利用した利用経験率は25.1%

「リアルタイム配信」の認知と利用状況を調査した結果、全体で認知率70.8%、利用経験は25.1%で4人に1人が実際に利用したことがあることが明らかとなった。年代別では、特に10-20代で高く、認知率75.0%、利用経験率36.5%にのぼる。

②スマホ・PC・タブレットで見る理由は、“好きな場所”・“一人で”・“集中して”見たい。

リアルタイムのテレビ番組を、テレビ受像機ではなく、スマホ・PC・タブレットで見る理由は、「好きな場所で見たいから」が最も多く73.1%、次いで「一人で見たいから」(65.9%)、「じっくり集中して見たいから」(60.3%)という結果になった。テレビ番組を見るためのセカンドスクリーンとして活用されている。

③番組リンクのシェアしやすさ・アクセスしやすさで、リアルタイム視聴への誘い合いが生まれる

テレビのリアルタイム配信利用者のうち57.6%が「好きなテレビ番組や好きな人が出ているテレビ番組について、リアルタイム配信の番組リンクをシェアすることがある」と回答。10-20代ではさらに多く、73.9%がリアルタイム配信の番組リンクをシェアしている。

また、「SNSでシェアされた番組リンクをきっかけに、スマホ・PC・タブレットでテレビ番組のリアルタイム配信をみることもある」人も52.7%。10-20代(60.4%)だけでなく、30-40代でも57.3%と高い。

④リアルタイム配信をきっかけに「テレビでのリアルタイム視聴」も増加。特に10-20代で顕著。

リアルタイム配信利用者のうち「テレビでもリアルタイムでテレビ番組を増えた」という人が全体で51.9%、10-20代ではさらに増加し63.9%がテレビでのリアルタイム視聴が増えた」と回答した。

■「リアルタイム配信視聴意識調査2022」概要

調査エリア:	全国
調査方法:	インターネット調査
調査対象者:	15～69歳の男女
サンプル数:	1956サンプル ※性年代毎に均等割り付け
調査期間:	2022年5月26日～5月30日
調査委託先:	株式会社ジャストシステム(fastask)

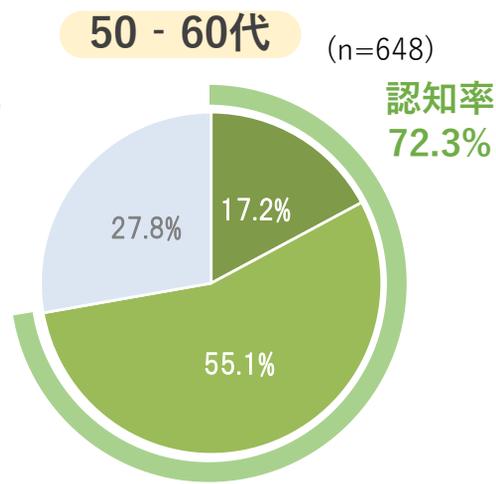
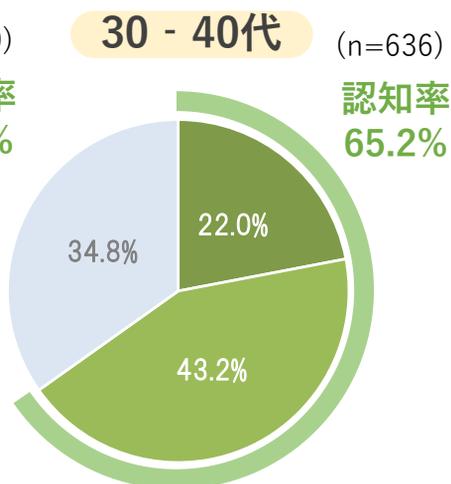
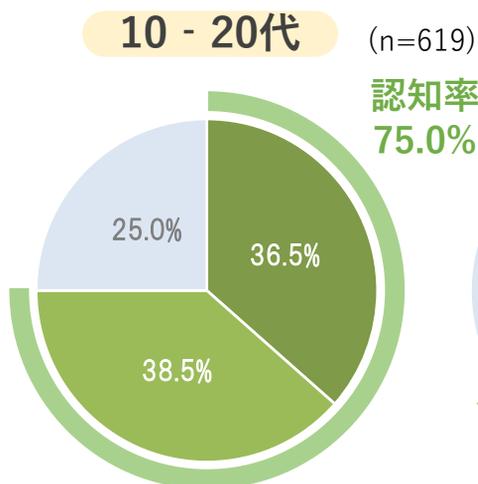
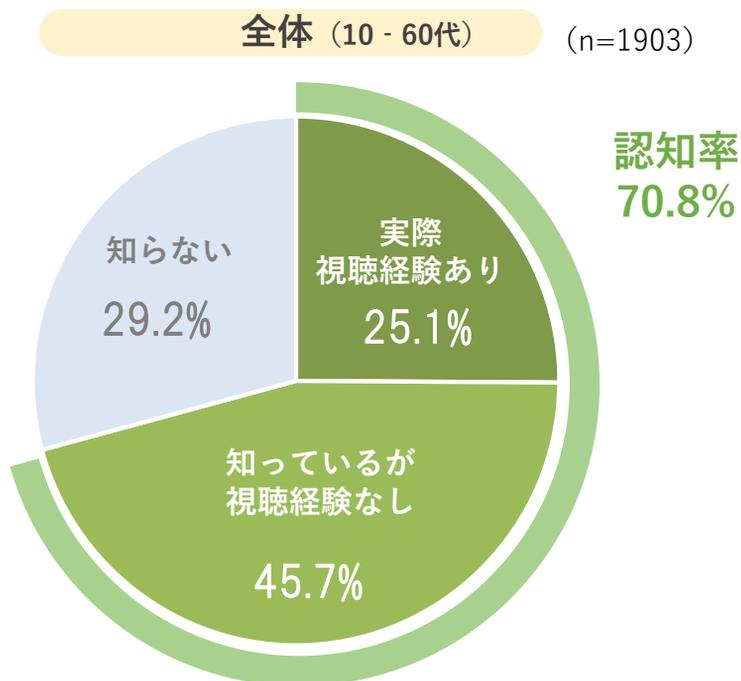
■ お問い合わせ先 ■

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	広報室	戸田	mp.webmaster@hakuhodody-
	メディア環境研究所	野田	media.co.jp
			03-6441-9347
			info@mekanken.com

【各ファインディングス詳細】

①「リアルタイム配信」の認知率は70.8%。実際に利用した利用経験率は25.1%

「リアルタイム配信」の認知と利用状況を調査した結果、全体で認知率70.8%、利用経験は25.1%で4人に1人が実際に利用したことがあることが明らかとなった。年代別では、特に10-20代で高く認知率75.0%、利用経験率36.5%にのぼる。



② スマホ・PC・タブレットでみる理由は、“好きな場所”・“一人で”・“集中して”見たい。

いずれの年代でも、理由上位は同様。10-20代では「SNSで話題になっている番組を見やすい」、
「SNSで情報や感想をシェアしやすい」というSNSとの連携のしやすさを理由とする人が多くなる。

あなたがリアルタイムのテレビ番組を、テレビ受像機ではなく、
スマホ・PC・タブレットでみる理由は何ですか？

	全体 (n=477)	10-20代 (n=226)	30-40代 (n=140)	50-60代 (n=111)
1位 「好きな場所」で見たいから	73.1%	75.7%	68.8%	73.2%
2位 「一人で」見たいから	65.9%	67.4%	65.2%	63.9%
3位 「じっくり集中して」見たいから	60.3%	67.0%	61.5%	45.0%
4位 「チャンネル争い」をしたくないから	52.0%	60.9%	50.3%	36.0%
5位 「追っかけ再生」で見たい	51.6%	60.1%	55.3%	29.6%
6位 「外出先で」見たいから	50.6%	57.0%	47.6%	41.4%
7位 「自分の住む地域外の番組」も見たいから	50.5%	57.9%	53.9%	31.4%
8位 「同時に複数の番組」を見たいから	48.2%	53.5%	53.8%	30.5%
9位 「SNSで話題になっている番組」を見やすいから	45.1%	56.1%	47.4%	20.1%
10位 SNSで情報や感想を「シェア」しやすいから	42.2%	53.5%	43.1%	18.4%

■ 各全体に比べ+10pt以上 ■ 各全体に比べ+5pt以上 ■ 各全体に比べ-10pt以上 ■ 各全体に比べ-5ポイント以上

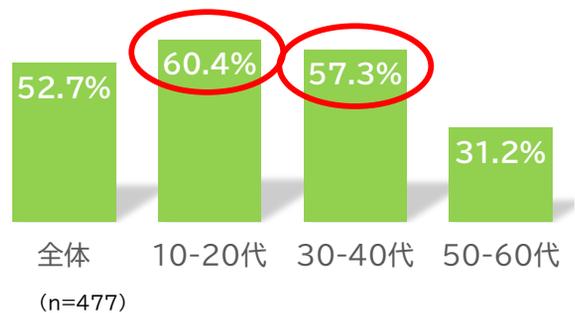
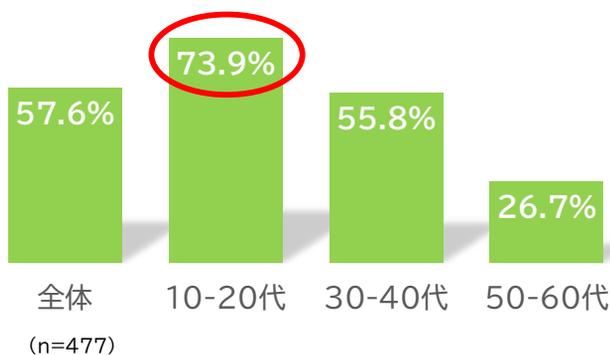
③ 番組リンクのシェアしやすさ・アクセスしやすさで、リアルタイム視聴への誘い合いが生まれる

テレビのリアルタイム配信利用者のうち57.6%が「好きなテレビ番組や好きな人が出ているテレビ番組
について、リアルタイム配信の番組リンクをシェアすることがある」と回答。10-20代ではさらに多く、
73.9%がリアルタイム配信の番組リンクをシェアしている。

また、「SNSでシェアされた番組リンクをきっかけに、スマホ・PC・タブレットでテレビ番組のリアルタイム
配信をみることもある」人も52.7%。10-20代(60.4%)だけでなく、30-40代でも57.3%と高い。

好きなテレビ番組や
好きな人が出ているテレビ番組について、
「リアルタイム配信の番組リンク」をシェアすることがある

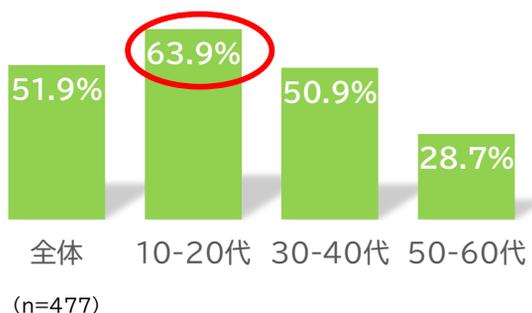
「SNSでシェアされた番組リンク」をきっかけに、
「テレビ番組のリアルタイム配信」
をみることもある



④ リアルタイム配信をきっかけに「テレビでのリアルタイム視聴」も増加。特に10-20代で顕著。

<リアルタイム配信視聴による変化>

「テレビ受像機」でもリアルタイムでテレビ番組をみるが増えた



詳細レポートについてのお問い合わせ

「リアルタイム配信視聴意識調査2022」では本リリース内容に加えて、
視聴場所、シーン、視聴理由などについても聴取しています。
詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 戸田 mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp
メディア環境研究所 野田 03-6441-9347
info@mekanken.com